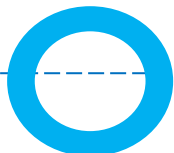


本の寄贈を受付ます

春は引越し・異動の季節。読まなくなった本を整理する方もあるのではないのでしょうか。図書館では、下記の「受付するもの」の本は、積極的に寄贈の受付をしています。

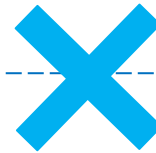


受付するもの



- ◎人気作家の小説 ◎現在予約が入っている本
- ◎可児市や岐阜県に関する歴史、文化の本
- ◎絵本や児童書で状態が良いもの（破損や汚れがないもの）

受付しないもの



- 百科事典・辞書 ●マンガ ●雑誌
- 試験問題集、学習参考書
- DVDなどの付録が付いた本
- 書き込みやヤケ、汚れがあるもの

寄贈の本は、図書館本館の1階受付にお持ちください。確認させていただいてから受付します。図書館の収納スペースに限りがあり、有効に活用できない本もあります。そうした場合はお返しします。なお、寄贈本の取り扱い（所蔵本として受け入れるかどうか）については、図書館にお任せいただいておりますので、予めご了承ください。

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

有川 浩

（ありかわ ひろ 1972年高知県生まれ）

『塩の街』で電撃小説大賞（大賞）を受賞し、2004年デビュー。同作と『空の中』『海の底』（メディアワークス）から成る自衛隊三部作、『図書館戦争』シリーズ（メディアワークス）をはじめ、『空飛ぶ広報室』（幻冬舎）『三匹のおっさん』（講談社）など著書多数。映画化、ドラマ化された作品も多い。

今回ご紹介する本は『だれもが知ってる小さな国』（講談社）です。コロボックル物語シリーズの著者・佐藤さとるさんに「続き 書いてみない」といわれ、実現された物語です。挿絵は佐藤さんの時と同じ村上勉さんによる絵です。コロボックル物語の世界観を失うことなく、新しいコロボックル物語が生まれました。

はちみつを採集する「はち屋」の息子ヒコ。夏休み前に北海道の小学校に転校してきます。いつもと変わらない転校だと思ったら、今年はまだ1人。同じ「はち屋」の娘ヒメが転校してきます。今年の夏、ヒコはどんな出会いをするのでしょうか？

この本を読んで、佐藤さとるさんの本をもう一度読み返したくなりました。

児童向けとして、『コロボックル絵物語』（講談社）もあります。（帷子分館 溝口）

中野 京子

（なかの きょうこ 北海道生まれ）

作家・ドイツ文学者。講演、テレビの美術番組への出演などでも活躍中。『怖い絵』（朝日出版社）シリーズ、『残酷な王と悲しみの王妃』（集英社）など、著書多数。

西洋の歴史・美術に造詣の深い著者の『名画の謎』シリーズ（文藝春秋）から、「旧約・新約聖書篇」のご紹介です。西洋絵画には聖書に題材を求めるものが多いので、絵画鑑賞の大きな助けになり、また、読みものとしても大いに楽しめる一冊です。八百よらずの神々に親しむ我々日本人から見ると、絶対的帰依を求めるキリスト教の神は非常に厳格なイメージです。ところが、聖書の神もえこひいきをしたり信仰心を試したりと、人間的で矛盾も多いことが、ブラック風味のユーモアをまじえて語られています。筆者の鋭い突っ込みは、信者の方々が気を悪くされるのでは？と心配になるほどです。欧米でなぜユダヤ人が嫌われるのか？復活の意味とは？など素朴な疑問への答えも。美しい絵画を楽しみつつ、キリスト教が少し身近になり、物知りにもなった気がしてお得な一冊。

（本館 熊崎）

分類	書名	著者名	出版者名
情報・心理			
019. 1/ミ/	戦略読書 私たちは読んだ本でできている。ビジネス、SF、科学、歴史、マンガ…。「何を」「いつ」「どう」読むかを戦略的に変えて、コモディティ化しない自分をつくる「読み方」大全。ブックガイド付き。	三谷宏治／著	ダイヤモンド社
159. 7/サ/	定年するあなたへ 会社を卒業したあと、どう生きるか？病気の妻や子を抱え、多難な家庭生活を送りながら、ビジネスパーソンとしても大きな成果をあげた著者が語る「ほんとうの幸福があるところ」。	佐々木常夫／著	サンマーク出版
歴史・人物・地理			
280. 4/コ/	幕末維新を動かした 8 人の外国人 外国人の一撃が、排外思想に凝り固まった日本人を世界に引きずり出し、幕藩体制を崩壊させた…。幕末日本を振り回した外国人の軌跡をたどることで、国内抗争だけでは見えてこなかった明治維新の実像を明らかにする。	小島英記／著	東洋経済新報社
289. 1/オ/	小倉昌男 祈りと経営 ヤマト運輸元社長・小倉昌男は、なぜ退任後、私財を投じて福祉の世界へ入ったのか、なぜがんに侵された体で渡米したのか。彼の信念や信仰、家族などを追い、本当の小倉昌男とはどんな人物だったのかを明らかにする。	森健／著	小学館
社会			
302. 2/サ/	シリア戦場からの声 もっと民衆蜂起の生の声を聞いてもらいたい…。2012 年から 2015 年まで 5 度にわたりシリアの内戦の現場に入った著者が、自らも死の恐怖と闘いながら、必死で生きる人々の姿をペンと写真で描いた貴重な記録。	桜木武史／著	アルファベータブックス
324. 8/イ/	無戸籍の日本人 全国に 1 万人以上いると推計される「成年無国籍者」。日本でなぜ戸籍を手に入れられない状況が生まれるのか。これまでに多くの無国籍者を支援してきた著者が、リアルな実態を描き、その背景を深く掘り下げる。	井戸まさえ／著	集英社
326. 4/サ/	ドキュメント死刑に直面する人たち 「死刑」と向き合う人たちが日々営んでいることは何か。死刑囚にアンケート調査を行い、加害者と被害者の家族、刑務官、弁護人など、死刑に関わる人たちの声を聞き、死刑がはらむ問題の核心と周辺をなまなましく可視化する。	佐藤大介／著	岩波書店
365. 3/ミ/	フグ田マスオさん家を買う。 「住まい選びのプロ」であり、「暮らしとお金のプロ」でもある著者が、サザエとマスオが家選びに奮闘するというストーリーを通して、マイホーム購入の際に「先に知っておいてよかった」という厳選知識を教える。	峰尾茂克／著	河出書房新社
369. 3/ジ/	16 歳の語り部 東日本大震災から 5 年。当時、東松島市立大曲小学校に通う小学 5 年生だった 3 人が“あの日”を語る。16 歳になった彼らにしか語れない言葉の記録。	雁部那由多／語り部	ポプラ社
379. 9/ホ/	アドラー博士の子どもを勇気づける 20 の方法 「わが子が生きていてだけで幸せ」と考えることが、子どもへの何よりの勇気づけ。オーストラリアの精神科医・アドラー博士の心理学をもとにした、依頼と納得の「協力の関係」に基づく“勇気づけ”の子育てを提案する。	星一郎／著	ゴマブックス
自然科学・医学			
489. 5/タ/	タヌキ学入門 東京 23 区のほとんどで生息が確認されている一方、その生態はあまり知られていないタヌキ。基礎知識や、津波後の仙台湾にヒトより早く戻ってきた話など、野生動物の専門家が、タヌキについて解説する。	高槻成紀／著	誠文堂新光社
493. 7/オ/	夫婦という病 どうすれば夫婦やパートナーとの関係を修復し、再生することができるのか。見切りをつけ新たな道に進む場合はどこで見極めればいいのか。21 のケースを通して、結婚を人生の墓場にしないための対処法を示す。	岡田尊司／著	河出書房新社

494. 5/オ/	家族ががんになりました	大西秀樹／著	法研
	家族ががんと診断されたらー。がんと心の関係の専門医である精神腫瘍医の著者が、家族に知っておいてほしいこと、患者の支え方、そして自分の心の守り方を、豊富な事例とともにわかりやすく解説する。		
技術・家政、産業			
519. 3/ハ/	もっと知りたい PM2.5 の科学	畠山史郎／著	日刊工業新聞社
	PM2.5 の科学的知識と正しい理解が得られる本。PM2.5 の定義から健康への影響、発生原因、越境飛来メカニズム、測定方法、拡散防止の取り組みまでをわかりやすく解説する。対策グッズも紹介。		
590/ミ/	みんなの家事ブック	本多さおり／監修	マイナビ出版
	家事をルーティン化した家、ものも汚れもためない家、片付けで暮らしが整う家…。気分よく家事をこなすための仕掛けがある7軒のお宅を訪問。快適収納術、掃除・洗濯・炊事の工夫、暮らしの道具&アイデアを紹介する。		
678. 3/イ/	伊藤元重が語る TPP の真実	伊藤元重／著	日本経済新聞出版社
	なぜいま、TPP のような、世界の多くの国を巻き込んだスーパー・リージョナルな経済連携協定が必要とされるのか？国際経済学の第一人者が、TPP の背景、意義、内容、今後の影響など、すべてを解説。		
芸術			
751. 3/ス/	スリップウェア	誠文堂新光社／編	誠文堂新光社
	18 世紀から 19 世紀にかけ、英国で作られた実用的なうつわ「スリップウェア」に世界で初めて美を見出したのは、日本の民藝運動の創始者たちだった。スリップウェアの意匠と現代に伝わる制作技法を紹介する。		
日本文学—文学論、小説			
910. 2/イ/	啄木の手紙を読む	池田功／著	新日本出版社
	恋文、借金依頼、思想の深まり…。ブログ感覚で書かれた石川啄木の手紙には、小説の一場面を読むような面白さがある。著者自身の主観に従って「読む」という行為により、啄木の手紙を解説する。		
913. 6/イ/	天才	石原慎太郎／著	幻冬舎
	幼少期のコンプレックス、政界入りのきっかけ、角福戦争の内幕、ロッキード事件の真相、田中派分裂の舞台裏、家族との軋轢…。戦後日本の基盤を作り上げながら、毀誉褒貶相半ばする田中角栄の生涯を描く。		
913. 6/エン/	狙撃手のオリンピック	遠藤武文／著	光文社
	ライフル射撃でモスクワ五輪をめざす長野県警所属の神稲。テルアビブ空港乱射事件の被疑者として逮捕され、釈放後、逼塞した生活を送る荻窪。2 人の運命は、戦後の混乱期の謎をめぐり、奇妙に交錯し始め…。		
913. 6/テン/	ムーンナイト・ダイバー	天童荒太／著	文藝春秋
	3.11 から 5 年目となるフクシマ。非合法のダイバーは人と町をさらった立入禁止の海に潜降する。慟哭の夜から圧倒的救済の光差す海へ。鎮魂と生への祈りをこめた作品。		
913. 6/カト/	家康、江戸を建てる	門井慶喜／著	祥伝社
	豊臣秀吉が徳川家康に要求した国替えの真意は、低湿地の土地と豊穡な所領の交換であった。家臣団が激怒する中、なぜか家康は要求を受け入れ…。ピンチをチャンスに変えた天下人の挑戦を描く。		
913. 6/キリ/	よこまち余話	木内昇／著	中央公論新社
	お針子の齋江、〈影〉と話す少年、皮肉屋の老婆らが暮らす長屋。あやかしの鈴が響くとき、押入れに芸者が現れ、天狗がお告げをもたらすー。		
913. 6/サト/	ハンニバル戦争	佐藤賢一／著	中央公論新社
	紀元前三世紀。ローマ帝国の歴史の中で史上最大の敵とされた男・ハンニバルが、復讐の名の下に立ち上がる。予測不可能な強敵を前に、スキピオは愛する家族と祖国を守り抜けるか？		
913. 6/キキ/	死んでいない者	滝口悠生／著	文藝春秋
	秋のある日、大往生を遂げた男の通夜に親類たちが集った。一人ひとりが死に思いをはせ、互いを思い、家族の記憶が広がって…。生の断片が重なり合い、永遠の時間が立ち上がる奇跡の一夜を描く。第 154 回芥川賞受賞作。		

- 913.6/ナカ/ **ハーメルンの誘拐魔** 中山七里／著 KADOKAWA
 障害を抱える15歳の少女が誘拐された。現場には「ハーメルンの笛吹き男」を描いた絵はがきが残されていた。警視庁捜査一課の犬養は相棒の高千穂と捜査に動くが、第二の誘拐事件が起こり…。
- 913.6/ホリ/ **その姿の消し方** 堀江敏幸／著 新潮社
 フランス留学時代、古物市で手に入れた、1938年の消印のある古い絵はがき。廃屋と朽ちた四輪馬車の写真の裏には、謎めいた十行の詩が書かれていた。読むことの創造性を証す長編。

日本文学—エッセイ・ルポルタージュ

- 914.6/アリ/ **倒れるときは前のめり** 有川浩／著 KADOKAWA
 「図書館戦争」等で人気の作家、有川浩のエッセイ集。日々のつれづれ、創作の裏側、愛する本や映画のことなど、デビュー書籍刊行前の2003年～2015年までの全94本のほか、小説も特別収録。
- 914.6/カカ/ **老嬢物語** 高樓方子／著 偕成社
 旅先で、日々の暮らしで、本や映画で…。これまでに会った印象深く「おばあさん」たちを拠りどころに、遠い日の光景や様々な思いを、ユニークな視点で綴ったエッセイ集。
- 915.6/ナカ/ **絶筆** 野坂昭如／著 新潮社
 2003年、脳梗塞で倒れた野坂昭如。だがその後も夫人の手を借りての口述筆記で作家活動を続行。日記と言う作品に魂を傾注していった。急逝のわずか数時間前まで取り組んだ10年以上に及ぶ日記を収録。
- 916/ウサ/ **僕がイスラム戦士になってシリアで戦ったわけ** 鶴澤佳史／著 金曜日
 3ヶ月間、生活を共にした「イスラム過激派」の仲間たち。彼らの姿は、日本のメディア報道から抱いていたイメージとはまるで異なるものだった…。シリアで戦士として戦い、瀕死の重傷を負った著者の「戦争」の記録。
- 916/ホリ/ **あの日** 小保方晴子／著 講談社
 真実を歪めたのは誰だ？研究者の道が閉ざされたいま、STAP騒動の真相、生命科学界の内幕、業火に焼かれる人間の内面を、自身の弱さや未熟さをもさらけだして綴った、小保方晴子の衝撃の手記。

展 示 の ご 案 内

■ 2 / 27 (土) ~ 3 / 24 (木) ■
史跡めぐりウォーキング展
 (本館1階)

有志の皆さんで市内の城跡や古墳といった史跡を巡るウォーキングを開催しました。その様子をパネルでご紹介します。
 (市役所文化財課)

■ 3 / 26 (土) ~ 4 / 28 (木) ■
読みくらべ絵本「三びきのこぶた」展
 (本館1階)

「三びきのこぶた」といえば、レンガの家を建てる子ブタが主人公の昔話ですが、本によって様々な描かれ方をしています。岐阜県図書館の児童図書研究室からお借りして展示します。



開館時間【本館】平日 10:00~19:00、土日祝 10:00~17:00
 【分館】全日 9:00~17:00
 休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日
 (3月 7,14,21,25,28日)

図書館桜ヶ丘分館は、桜ヶ丘公民館の点検による停電のため、臨時休館します。
平成28年 3月20日(日) 午前9時~午後1時
※午後1時から開館します。本館と帷子分館は通常どおり開館します。



「図書館だより」2016年3月号
 発行：可児市立図書館 編集：長谷川(本館) 電話(0574)62-5120
 資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。